

努力賞  
(子どもの部)

「おにいちゃんといるといっしょよくなる」

荒川区立赤土小学校二年

宮田 眞子

やなぎ田先生こんにちは。今日はおにいちゃんの話聞いてください。わたしはおにいちゃんが大好きです。たまにいじわるされるとキライになるけど、五分たったら好きになるからふしぎ。そんなおにいちゃんをわたしにぴったりの本を見つけてみました。

この本は、ちいさいぼうやとうさぎのぬいぐるみのお話です。この本の中にはわたしとおにいちゃんといっしょになるところがたくさんあります。さいし

よはぼうやとうさぎのぬいぐるみのはらであそんでいるところ。ちいさいころおにいちゃんが土を入れてはこぶ車にわたしをのせておしてくれなことを思い出しました。ゆうえんちみたいでたのしかったです。もうひとつは、ねむれないぼうやがうさぎといっしょになるところ。わたしもひとりであるのはこわいのに、おにいちゃんといっしょにしているとたのしくなります。さわいでおこられることも多いけど、おにいちゃんといっしょだからこわくない！さいごはぼうやとうさぎにもわかれがやってくる。おにいちゃんがじゅくでいそがしくなってあそべなくなった時は、ギザギザのハサミでおなかを切られてるぐらいだったです。うさぎのぬいぐるみもそんな気もちかなと思えました。

絵本の中でウサギは「心から大切にされて友だちになったおもちゃだけが本ものになれる」と教えてもらいます。これを読んでぬいぐるみも人もやさしくされるとゆうきがでてくると思いました。おにいちゃんにつれていってもらったから、はずかしがりやのわたしも一人で買えるものができるようになりました。一年生のころはおにいちゃんがいないと学校にいけなかったのに、今では一人で行けます。これも、おにいちゃんが毎日手をつないでつれていってくれたから。ビロードのうさぎみたいに、おにいちゃんがまほうをかけてくれたから本もののゆう気のあるわたしになれたのかな？

やなぎ田先生にも、おにいちゃんのようにゆう気をくれる人はいますか。